

FVI「声なき者の友」の輪  
Friends with the Voiceless International



2014年 冬号

URL : <http://www.karashi.net/>

### 戦後 70 年目を前に求められる「心の一新」

激変する 21 世紀の世界の必要に応えるようにと導かれてスタートした「声なき者の友の輪」(FVI) ですが、皆様方の祈りと温かいご支援によって祝福のうちに 4 年が経ちました。心から感謝を申し上げます。

明治以来の「富国強兵」路線は、確かに国を強くしました。しかし国民には多大の犠牲を強いるものでした。「強兵」路線に終止符を打ったのは「核」でした。「核」を軍事的に利用した原子爆弾が広島・長崎に投下されたことによって第二次世界大戦は終わり、憲法 9 条の誓いのもとで日本は平和国家としての道を選択しました。

「富国」のためにも「核」が使用されました。「富国」のために絶対不可欠なエネルギーを確保するために「核」の平和利用として原子力発電所を建設、2011 年には福島で大事故を起こしたのです。「原子力正しい理解で豊かなくらし」という横断大看板が掲げられている福島県双葉町はスローガンとは裏腹に人の住めない汚染町と化し、原発周辺にばらまかれた汚染物質は処分する方法も場所もない状態です。国を豊かにした「核」は市民を犠牲にしているのです。原発は事故を起こしたら当然のこと、事故が無くても稼働すれば必然的に処分不可能な汚染物質を作り続け、民に悪影響を与えるだけでなく、子孫にも負の遺産を遺すことになるのです。

来年は戦後 70 年。「核」を利用して「富国強兵」の道を突き進む歩みを、まず市民である私達が「心の一新」によって考え直す重大な時がきているのではないのでしょうか。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

\* FVI の働きは皆さまからのご支援に支えられているカタリストによって担われています。各カタリストをご支援くださる場合は、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。